

ゼロ・コーポレーション（京都市北区）が京都市伏見区で分譲中の「ルーシア伏見」は、共用部分に「井戸」を設けるマンションとして注目を集めている。水どころ伏見ならではの取り組みで、「井戸を通じた井戸端会議」が活発になり、住人同士の良好なコミュニケーション形成の一役になれば」（同社）と期待する。また「災害時協力井戸」として登録し、地域への貢献も図る。

ゼロ・コーポ「ルーシア伏見」



「井戸水ポンプ」でコミュニケーションの活性化を図る＝モデルルームで

京都で「井戸付き」マンション

コミュニティー形成促す

伏見は、宇治川と桂川が合流し、全国的にも有名な数々の酒造メーカーが軒を並べる「水どころ」として知られる地域だ。今回の物件では、地下60mの水をくみ上げて洗車スペース、手洗い場、植栽の散水栓などの給水に利用する。飲み水としての基準はクリアしなかったが、「洗車に使うにはもったいないくらいの水

販売も上々で、12月の竣工を前に7割が成約済み（総戸数40戸）。「ほとんどの来場者が、井戸に興味

質」（同社）だ。また、マンションのエン

トランスホールの一角にはベンチと「水庭」を設け、井戸水のくみ上げポンプも用意。「ここで様々なコミュニケーションが生まれることを期待する」（同社）。

また、京都市の「災害時協力井戸」に登録し、緊急時には地域住民にも井戸を開

「公開」を企業理念とする同社独自の取り組み

「公開」も積極展開

みも展開。この9月までに、建築中の「マンション構造見学会」を合計4回開催した。毎回最低でも12、13人が集まり、普段目にするのできない部分をオープンにすることで安心感を提供した。更に、期分け販売の実施ながら、全戸分の価格を販売開始当初からホームページ上で公表。様々な面で「透明性」をアピールした。

同物件の所在地は、京都市伏見区景勝町、近鉄京都線伏見駅徒歩10分。敷地面積1545㎡、地上7階建て・総戸数40戸。専有面積68.85㎡、価格は2580万～3500万円。平均坪単価は約130万円。07年12月の竣工予定。

「構造見学会」には多数の参加者が集まった

